

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
クオリティ・オブ・ライフ元吉田支援教室		令和 7年 4月 1日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	60%	40%	活動スペースが限られているので、座学以外の時はテーブルや椅子をまとめてしまい、活動スペースを広く確保するように対応している。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	利用数に応じて職員のシフト組みをしている。活動をグループ分けをして担当職員を配置したりとお子さまを安全に支援できるように対応している。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	20%	80%	2階へ繋がる階段には手すりが付いているが、その他はバリアフリー化されていない。玄関口に職員を配置し、地面が濡れている場合は手添えして支えたり、トイレに段差があるので、転ばないように手添えをして配慮している。	玄関口の階段が雨が降ったりすると滑って危ない。トイレの段差などがあり危険。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	ブレイルーム以外に、痙痙を起してしまった場合や体調を崩してしまった場合にクールダウンや静養できる部屋を設けている。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	保護者向け評価表でいただいたご意見をもとに、ミーティングを行い業務改善を行っています。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	保護者向け評価表同様、職員向け評価表を職員に配付し、職員から出た意見をもとにミーティングを行い、業務改善に繋げている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%	0%	第三者委員会を設置している。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	社内研修だけでなく、講師を招いた外部研修を行い、職員のスキル向上を図っている。	
適	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	支援プログラムを作成し、ホームページに公表していく。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	個別支援計画は、児童発達支援管理責任者が作成している。モニタリング担当者を決めて	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%		

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	カリキュラム委員会を設け、固定化しないよう企画を考えています。教室内でも話し合い、色々なことに挑戦出来るよう、考えて支援しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	毎朝、ミーティングを開き当日の予定や打ち合わせ、前日にあった出来事も申し送りしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	送迎後、残っている職員間で共有し、グループLINEも活用し職員全体への共有も行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	活動の様子を記録し、改善点がある場合は職員全体で共有し改善につなげています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%	0%		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	マチコミなども活用し、連絡事項がある場合はその都度共有を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%	0%		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	80%	20%		まだ利用者に卒業者がいないが、就労に以降する為に必要な情報は共有し、カリキュラムに取り入れ訓練を行っています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	60%	40%		行く機会が少ないので積極的に参加し連携を図っていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	40%	60%	QOL全体イベントとして地域の交流も含め活動を行っています。	地域イベントなどに参加し交流する機会を増やしていきたいと思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0%	100%		協議会の参加ができていません。水戸市の事業所が集まるこども部会には参加していますので、今後も積極的に参加していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎時に日頃から教室での様子をお伝えし、家庭での様子もお聞きしながら、学校の様子も共有し発達の状況や困り事を一緒に考え成長を見守れるようにしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%		家族で参加出来る研修は行っていないので、今後は研修も踏まえ、提供出来るイベントを考えていきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	入所手続きをする際、時間をかけて説明を行っております。入所してからも、疑問点などがある場合はその都度説明を行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	個別アンケートや面談を年に2回設けています。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	随時、送迎時やLINEなどを活用し相談などに応じ支援を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	年に2回、保護者会や、親子イベントを開催し、保護者同士でも情報交換が出来る活動を行っています。	きょうだい同士で交流する機会イベントを増やしていきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	個人情報にあたる書類は鍵付き書庫に保管している。持ち出しは一切禁止とし、確認等で必要な時に書庫から出して確認が終わったら書庫に戻すように徹底している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	80%	20%	イベントを開催し、利用者家族ではなく、地域住民も参加出来るよう、イベント前にはSNSや協力団体を活用しお知らせしています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	BCPマニュアルを策定、見直しをしている。年2回の避難訓練、備蓄の準備等も行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	安全計画をもとに安全点検を行い、不備があれば修繕等をしてお子さまが安全に利用ができるようにしている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	ヒヤリハットが起きた際は、教室で再発防止策を検討し、周知・徹底をしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	社内研修だけでなく、外部講師を招いた研修を行い虐待を防止する研修の場を設けている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	身体拘束に関する同意書をもとに、どういった場合が対象になるかやどういった対応をするかを説明している。そのうえで個別支援計画にも記載している。	